

第 32 回 長崎診療情報管理勉強会 議事録

開催日時	平成 25 年 9 月 21 日 (土) 15 : 00 ~ 18 : 00	場所	ホテル東洋館
司 会	十善会病院	書 記	長崎三菱病院
参加施設	参加者	参加施設	参加者
恵寿病院	長崎医療センター	諫早総合病院	池田病院
光晴会病院	佐世保千住病院	島原病院	十善会病院
聖フランシスコ病院	済生会長崎病院	松岡病院	長崎原爆病院
長崎労災病院	佐世保共済病院	公立新小浜病院	長崎県上五島病院
筑後市立病院	泉川病院	柴田長庚堂病院	三菱長崎病院
参加状況	参加病院 : 20 施設 参加者 : 38 名 ☆ : 新規参加		
議題	1. 「チェックは一日にしてならず～退院サマリチェックの効率化を目指して～」 2. 『ICDコーディング勉強会』講師：鳥羽先生		
議 事 内 容			
<p>1. 「チェックは一日にしてならず～退院サマリチェックの効率を目指して～」 長崎医療センター診療情報管理室 Team オーディット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療情報管理室で取り込むことになった院内QC活動の報告 管理室での現状の問題を分析し「サマリーの受け取り効率」というテーマを基に改善目標や対策等を考え実施し効果確認を行った。 結果：平均差し戻し業務時間の短縮・サマリーに関する意識の向上 今後の課題：意識調査の平均値をあげていく・サマリー記載内容のチェック 			
<p>2. ICDコーディング勉強会 講師：鳥羽先生</p> <p>①講演</p> <ul style="list-style-type: none"> I はじめに（基本的考え方・高質な情報として活用） II 福祉と情報伝達&保存の意味・意義 III 「ICD」誕生の背景（劣悪な医療状態・若年者の死亡数増大など） IV 現在の日本の医療環境 V 現在の「ICD」で特徴的な注釈を持つ章（II章・V章・VI章・IX章・X章・XVII章・XIX章） VI 章により共通するもの（処置後障害、続発・後遺症、多発病態） VII コーディング結果と統計・臨床指標の活用例（各種死亡統計例、原死因統計の問題点） VIII サマリーのあるべき姿（記載されるべき情報について） IX 「サマリー」を活用するための工夫（あり方、疫学や研究に役立てる、高質な情報として活用） <p>②サマリー症例</p> <p>講演を受けた後、スクリーンに表示されるサマリー症例に意見を出し合いながら挙手で回答する。最後に鳥羽先生による解説と解答の説明を受ける。</p>			
<p>3. 次回に向けて 連絡事項（各種勉強会の案内）</p>			
次回開催	H25年11月19日(土) 15:00～ 聖フランシスコ病院	書 記	